

裏打ち

和装本の修復方法のひとつ「裏打ち」はさまざまな修復場面で用いられます。この手法は、本紙の裏全面に薄い和紙を糊で貼り付けることであり、そもそもは表装の技術です。

虫損直しに裏打ちを使うと、「繕う」より作業効率が高いです。また、カビなどで紙が脆弱になった場合にも裏打ちをして強化します。和装本だけでなく、洋装本の修理にも有効ですが、全面に和紙が糊付けされるため、厚く、硬くなるという欠点があります。

投げ裏打ち

手順

1、本紙を広げ、湿りを入れる

本紙の裏面を上にして広げ、噴霧器や刷毛で水分を与えて良く伸ばす。



2、裏打ち紙の全面に糊をつける



3、裏打ち紙を本紙に置く

よく湿らせた本紙が中央に来るように裏打ち紙を置く。



4、本紙と裏打ち紙を接着させる

刷毛を使ってよく撫でつける。



5、仮張りに貼る

よく乾くまでそのままにする。



6、仮張りからはがす



7、化粧断ち

本紙からはみ出た裏打ち紙を切り落とす。



8、出来上がり



直裏打ち

投げ裏打ちが裏打ち紙に糊をつけて貼る方法であるのに対し、直裏打ちは本紙に直接糊をつける方法です。本紙を傷める危険性が高いため、限定的に行います。主に洋装本（一枚物の地図など）に用います。

手順

1、本紙の裏面全体に糊をつける



2、裏打ち紙を上にものせてよく撫でつける

